



樹木医

上条祐一郎さん(小坂)

NHK趣味の園芸で見たことがある方もいるかもしれません。

祐一郎さんは、大学卒業後アメリカでの修行を経て、実家の丸八種苗園で働いています。

「木の種が何年もかかって芽生えた状態や表情が楽しいんです。森づくりの一環で植樹していくなかで、森が出来ていくのは『時空を超えた思い出づくり』なんですよ。皆さんにも身近な緑をもっと楽しんでもらえれば」と優しい表情で話してくれました。

(5月24日 丸八種苗園にて)

働く姿

告知板

B & G プールオープン

6月30日(土)午前9時より、B&Gプールがオープンします。詳細な営業日については、同梱されている「営業のご案内」をご覧ください。

B&Gプールについてのお問い合わせは、教育委員会(98-3155)までお願いします。

夏の図書館企画

- 夏休みの展示企画
～科学道ジュニア100冊～

なぜ? どうして? 世の中は不思議に満ちています。いろいろな切り口で「科学」しましょう。科学に関する読み物をたくさん集めました。

期間: 7月1日(日)～8月26日(日)

- 自然観察クラブ 夏編
「ピオトープ“想い出探しの水辺”であそぼう」

水辺の保護と再生に取り組んでいるアクアの会との共同企画です。水辺の小さな生きものと友だちになりましょう。

日時: 7月14日(土) 10時～12時

場所: 下大池八幡神社境内(10時集合)

持ち物: 水中の生きものをすくう道具(たも網、ザルなど) 持ち帰る場合は入れ物、水に入ってもいい靴、着替え

定員: 30人

その他: 雨天の場合は、工作をします。申し込み等は山形村図書館(☎98-3155)まで。

下竹田分館春のスポーツ大会

5月20日(日)



キックベースボール

優勝 北中
準優勝 南堀
第3位 上手村 竹原

テニス教室開催中

5月17日より毎週木曜日にふれあいドームにてテニス教室が開催されています。取材当日も、生徒の皆さんは楽しみながらも真剣な表情でボールを打ち返していました。



「感謝」の気持ちを込めて

6月3日(日)、春の環境整備が村内各地で行われ、公共施設や道路、河川の清掃をしました。



普段使っている施設や道路などを綺麗にすることで、参加した皆さんはさすがすがすがしい気持ちになったのではないのでしょうか?

ヤマリククラブ頑張りました

5月20日(日)、松本市広域公園陸上競技場にて中信小学生陸上競技大会が開催され、山形小学校からもヤマリククラブが参加しました。



男子1000mでは丸山直生くん(6年)、女子走り高跳びでは因幡真桜さん(6年)が見事1位という好成績。ほかにも9名の選手が県大会に進むという大活躍でした。



県大会では自己ベスト更新を目指して頑張ってくださいね。

山すそ

今、飼いたい動物がいる。すでに名前が「メエ」と決めている。そう私はヤギが飼いたいのだ。いつかあのブランコに乗ってみたいと思うが、ハイジに出てくる様なチーズを作りたいからという理由ではない。子どもたちには様々な動物や自然と触れ合う機会が必要であると思っているからである。4年に一度行われるサッカーワールドカップ。それと同じ年に増えるものがある。クマの出没件数だ。既に何件も里に下りてきたとの情報を耳にしている。出会って逃げるといつから逃げたら追いかけてきて、何かと思つたら落とす物を届けてくれて、そのお礼と一緒に歌つてくれたのは遠いアメリカのクマの話だ。残念ながら日本にそんな、クマさんは存在しない。様々な動物と触れ合う機会が必要だと言つたが、今年に限っては撤回しよう。それと、清水でソロキャンプをして夜は満点の星空と眼下に見える夜景を堪能し、朝はコーヒーを入れながら美ヶ原付近から上つてくる太陽を待とうと思つたが、それも今年は止めておこう。クマが怖いんだもん

摘果体験

5月17日(木)、鉢盛中学校の2、3年生が学区内の農家でリンゴの摘果作業を行いました。この活動は、地域の主要産業である農業について学び、勤労の意義を体験するという目的で昭和60年から続いています。生徒は「リンゴの摘果作業は初めてだったけれど楽しい」と取材に答えてくれました。受け入れ農家にとっても地元の中学生と触れ合



う貴重な機会となったようです。この収益はアップル文庫として図書館の本を購入したり、生徒会費として有意義に使われます。

福祉交流体験

同日、鉢盛中学校の1年生は、いちいの里や松本養護学校等で福祉体験を行いました。

いちいの里では、生徒からは学校での話題などを、デイサービス利用者の方からは自身の体験談などをお互いに話しながらコミュニケーションをとりました。また、午後は生徒が企画したレクリエーションを高齢者と一緒になって楽しみ



ました。「高齢者の方に分かりやすく、同じ時間を楽しむにはどうすればいいのか」を考えながら企画する大切さを学び、実りのある交流となりました。

小学校PTA作業

5月19日(土)、主に6年生の保護者と学校職員などで春のPTA作業が行われました。体育館のトイレの入念な掃除、渡り廊下通路のペンキ塗り、昇降口周辺の側溝の泥上げ、中庭の池の清掃、中庭の水たまりを埋めるなど、普段、児童や職員だけでは手の回らない箇所の整備を行いました。汗ばむような陽気の中、子どもたちに少しでも良い環境で過ごしてもらおうと、参加された職員、保護者の方が一生懸命作業されている姿が印象的でした。



小学校資源物回収

6月2日(土)、小学校PTAの資源物回収が行われました。高学年の児童もPTA役員と一緒に参加し、各家庭から出されたアルミ缶を地区ごとに公民館などに集めました。



集まったアルミ缶はスチール缶や異物などが混ざっていないか丁寧に分別したあと、業者に回収されていきました。

村民の皆様のご協力、ありがとうございました。

エピペン研修

5月26日(土)、小学校職員室にて先生向けのエピペン研修が行われました。

保健指導係の先生がアレルギー症状の見分け方、対応の仕方を講義し、その後DVDによる実際のエピペン使用の順序を学びました。

緊急時の校内体制・救急車の要請時のポイント・隊員への必要事項の連絡など事前に訓練しなければ難しそうなことがたくさんあり、先生方は真剣に学んでいました。

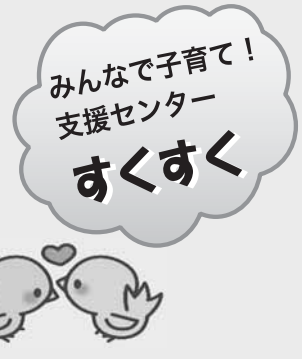


エピペンとはアナフィラキシー補助治療剤 - アドレナリン自己注射薬の事で、アレルギー症状がでてしまった時に病院に行くまでの補助治療薬として使用するペン型の注射です。



あれれー？手がオレンジ色だよ！

みなんでお祝いをしたよ！
 5月28日(月)、村の子育て支援センターすくすくで、バースデーイベントがありました。5月に誕生日を迎えた4人の子どもたちが、手作りのカードをもらい、手形と足形をとって成長の記録を残しました。今までは月に一度の「すくすくデイ」でお誕生日やハーフバースデーの子どもたちの手形足形をとっていました。今年度からはお誕生日イベントとしてお楽しみ会も一緒にを行います。参加者みなんでお遊戯をしたり、パネルシアターを見て楽しみました。



毎月、様々なイベントを行っています。6月は松本広域消防署の方を呼んでの救命講習がありました。受講者からは「なんでも口にいられてしまうので、今回誤飲について救急救命士の方からお話が聞けてとてもよかったです」と感想がありました。



お人形を使ってみんなでお勉強をしました

すくすくってなあに？
 とここで、すくすくってどんなところか知っていますか？すくすくは地域全体で行う子育ての拠点として平成26年に開設し、今年で5年目になります。妊婦さんの相談窓口を設けたり、0歳から3歳くらいまでの子どもたちの遊びや交流の場として、月曜日から金曜日の9時から16時まで開館しています（日曜開館の日もあります）。

すくすくには村内外の利用者があり、キレイで、夏涼しく冬暖かいので安心して子どもを遊ばせることができます」と好評です。



お遊戯上手にできたね！

他にも、マタニティヨガ講座・あかちゃん2か月児相談・ママリフレッシュビクス・親子体操・絵本や紙芝居の読み聞かせなどイベントが盛りだくさんです！



マッサージでママも赤ちゃんもニコニコ

6/6(水) ~ スマホ講座

今年からスタートした講座です。講師は地域おこし協力隊の坂野さん。年代によってコースが分かれており、参加者のニーズに合わせたおすすめの機能やアプリをレクチャーしてくれました。

“なんとなく”で使用している人も多いであろうスマートフォン。需要があれば第2弾も実施するかも……？



6/6(水) 村民ハイキング

毎年人気の公民館・本館体育部の合同企画です。案内人に山口今朝二さんをお招きし、参加者と戸隠古道を散策しましたが、熱中症の心配もなかったのでひと安心。圧倒的な存在感を放つ杉並木、九頭龍社や奥社など見ごたえ満点の行程となりました。



公民館講座

5/24(木) ~ よせ植え講座

講師に小林徹さんをお招きし、サルビアやペチュニアなどの季節の花を使ったよせ植えを作りました。

完成したものはトレセン玄関や図書館に飾ってありますのでお立ち寄りの際には是非ご覧ください。



山ブラ

山形村をぶらっと散策

村内の名所、史跡、イベントなどを編集部スタッフの気の向くまま、思い付きでぶらっと散策。

第5回は、村民の皆さんもよくご存知の「清水寺」を管理人の倉畑さんに案内をいただきながら散策してきました。

慈眼山 清水寺

（寺伝と伝承）

天平元年（729

年）の春、この地に

釋行基が廻つてこら

れ、自ら千手千眼觀

音菩薩像を彫つて安

置し、創建したとい

われている。

その後、延暦年間

（782～806年）

に征夷大將軍であつ

た坂上田村麻呂が、

当山にて蝦夷征伐の

祈願をし戦地へ赴い

たところ大成功を収

めたので、その靈驗

に感謝してこの尊像

を京の都へ移し、京

都東山に清水寺を建

立して安置したとい

う。

当山は真言密教の

祈願寺という由来を

持つため、昔から檀

家がなく、幾度か荒

廢の危機にさらされ

てきました。江戸

時代には「村持ちの

寺」といわれたよう

に、住民の拠出で護

持されてきました。（清水寺ガイドブックより）

鐘楼・梵鐘

初代の梵鐘は太平洋戦争中の供出令により失われたが、昭和28年に現在の2代目が掛けられました。再鋳された梵鐘は、工芸家として初めて文化勲章を受章した香取秀真氏と、後に人間国宝となった香取正彦氏の親子によるものです。本堂の前には、京都清水寺大西良慶元貴主揮毫による梵鐘再鋳碑もあります。



山門（円通門）

享保11年に建立され、昨年本堂と共に屋根が葺き替えられました。門の裏側上部にある白い動物。猫か虎か、はたまた？



百体観音

当山中興の祖である禅心の代、享保年間に製作されたと思われま。第1回の山ブラで紹介した穴観音さまと違い、百体の観音さまがしっかりあります。



仁王門・仁王尊像

寺の入口の仁王門にある吽形像（力士像）と阿形像（金剛像）。仁王尊像の多くは木像であるが、この2体は石像となっています。（県内では9ヶ所のみ）



般若堂（位牌堂）

堂内の壁には5千枚を超える位牌が貼られ、地藏菩薩像も安置されています。



本堂

昭和14年には、創建時より後方数mへ移動させながらの大改修工事が行われたそうです。葺き替えられた銅板屋根が眩しい。



あららぎの庄

平成20年9月に竣工しイベントの会場や休憩所として利用されています。旧庫裏に使用されていた、立派な大黒柱や梁が再利用されています。



坂上田村麻呂が座した石

蝦夷征伐に向かう際に坂上田村麻呂が座し、兵を鼓舞したと言われる石の椅子があります。



仁王門、仁王尊像

- 百体観音
- アララギの巨木
- 三界萬霊等、名号碑
- 六地藏
- 石像聖観音像
- 石像不動明王
- 石像毘沙門天像
- 山門（円通門）
- 行基桜
- 鐘楼・梵鐘
- 石造三重塔
- 坂上田村麻呂が座した石
- 般若堂（位牌堂）、地藏菩薩
- 卵塔
- 本堂
- 文化交流施設あららぎの庄

山形村一番の観光名所と言つてもよい清水寺。小学校の頃に遠足で訪れたけれど、大人になってからは行ったことがない方も意外に多いのではないのでしょうか。本堂と円通門の屋根もきれいな銅板に葺き替わっています。清水高原の爽やかな風が気持ち良くなつてくる。これからの季節、古からの歴史を感じながら梵鐘を打ち鳴らしに清水寺を訪れてみてはいかがでしょうか。

*番外編 表札

管理棟の表札は、京都清水寺の森清範貫主の揮毫によるものだそうです。



*番外編 展望台

京都清水寺の舞台を模した懸崖造りの構造ですが、現在は老朽化のため立ち入り禁止となっています。早期の修復を願っています。



伝統行事行われる

6月8日(金)、学校林にて、みどりの少年団(4年生)が下草刈りを行いました。里山に入ることがほとんど無くなった子どもたち。山の急斜面に時おり足を滑らしながらも、真剣に下草を刈っていました。



エンジョイ！歴史学習

5月30日(水)、6年生の子どもたちが千曲市で社会見学を行いました。県立歴史館や森將軍塚古墳などを見学したり、さらしなの里古代体験パークで縄文人の暮らし体験を通じて、楽しみながら歴史について学びました。



備えあれば憂いなし

5月26日(土)、山形小学校グラウンドにて児童の引き渡し訓練が行われました。数日後には隣村でカッターを持った人が出没した事件もあり、いざ本番となった時にスムーズに引き渡しができました。今年小学校に子どもが入学した保護者は「初めての体験で怖かったので、対応ができてよかったです」と話してくれました。



真剣に取り組む小学生

ジュニアリーダー任命式

6月3日(日)、トレーニングセンターふるさと大ホールにて、山形村子ども会育成会が主催のジュニアリーダー任命式が行われました。今年5名の女の子が任命され、自己紹介にて取り組みたいことを力強く宣言しました。

式後、2つのゲームで親睦を深め、危険予知訓練を通して



6月3日(日)、トレーニングセンターふるさと大ホールにて、山形村子ども会育成会が主催のジュニアリーダー任命式が行われました。今年5名の女の子が任命され、自己紹介にて取り組みたいことを力強く宣言しました。

また、6月8日(金)には山形保育園で地震を想定した訓練が行われました。子ども頃から訓練をしておけば、いざ災害が起こった時には、適切な対応がとることができる大人に育つことでしょう。

「自分の身は自分で守る。そんな時代になってきている。親として子どもに、命の守り方を教える時がきているのでは。」



地震を想定した訓練をする園児

宗福寺探鳥会

5月26日(土)、上大池の宗福寺とその周辺にて、バードウォッチングが行われました。25種の野鳥を確認することができましたが、付近の工事や伐採による環境の変化により、野鳥の数が減ってきていることが残念です。



盆栽・山野草展示

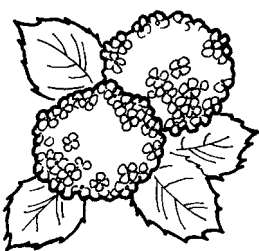
5月26日(土)・27日(日)、ミラ・フード館にて山形村の盆栽と山野草の愛好家の皆さんによる展示会がありました。自慢のコレクションということもあり、見ごたえのある展示会となりました。



おめでた(子・親)

(敬称略)

- 石川 考^{ヨウ} 文雄 下竹田
- 丸山 実歩^{ミホ} 直樹 上竹田
- 宮島なつ葉^ハ 知宏 小坂
- 百瀬 颯祐^{ソウユウ} 幸祐 下竹田
- 渡邊 夏乃^{カノ} 和人 小坂
- 上條 智裕^{チユウ} 巧 上竹田
- MIGUEL ALBERTO 晴美 小坂
- おくやみ
- 百瀬 一江 70歳 下竹田
- 村瀬伊三夫 78歳 上竹田
- 神通川 始 98歳 上竹田
- 上條 富平 81歳 下竹田
- 小林 武富 93歳 小坂





子どもたちとの 出会いを大切に

今月の
声

ふれあい児童館 館長 佐塚 百合子

「ただいま!」と、熊鈴を鳴らしながら、元気いっぱいの子どもたちが、児童館にやって来ます。小学校は楽しかったんだね。児童館でも楽しく過ごそうね。『そんな気持ちで、お帰りなさい!』と、子どもたちを迎えます。

一年生の小さな手にギョツと握られた可愛い花や実。小学校から児童館までの道で見つけてきたでしょう。自然の中で伸び伸びと育っている子どもたちは、キラキラ輝いて見えます。

私は今年三月まで、愛知県名古屋近郊の小学校に勤務していました。交通量が多いため、集団での登下校でした。歩道を並んで歩かなければなりません。特に下校時は、途中まで教員が付き添うことが日常だった経験から、恵まれた環境の中で育つ山形村の子どもたちは幸せだなあ、と思います。

さて、ここ「山形村ふれあい児童館」には、就学前のお子さんも遊びに来ます。広いスペースがあるので、安心して身体を動かせます。幼児用の遊具もたくさんあって、保護者と一緒に楽しく遊ぶことができます。また、子育てサ

クルの皆さんが、自由に活動する場としても利用していただいています。

六月からは、土曜日にレインボークラブが始まりました。山形村在住の小学生が参加する教室です。今年度は「ちびっこ手話サークル」「ちびっこ絵てがみ教室」「ちびっこ囲碁サークル」「ちびっこ運動教室」の四つです。講師の先生方がみえて、熱心に教えてくださいます。子どもたちの集中力と、習得力には毎回驚かされています。

これらの児童館事業の他に児童館では、放課後児童健全育成事業として、放課後児童クラブの運営を行っています。冒頭の「コマは、小学校から帰館してきた子どもたちの様子です。子どもたちが家に帰って来たように、安心して過ごせる場となるようにと、児童館職員みんなで心がけています。

山形村の自然と、地域の方々の温かさに触れ、ここに居を構えることとしたことから、思いがけず「ふれあい児童館」にご縁をいただきました。ここに来る元気な子どもたちとの出会いに感謝し、山形村の皆様のお役に立てるよう頑張りたいと思います。よろしくお願ひします。

子どもを育てる

シリーズ

反抗期

探索行動を十分に許容された子どもは、2、3歳で第一反抗期に入ります。

何かにつけ、「いや」「自分でやる」と、大人から手を貸されることを拒否します。一見、わがままに見えますが、わがままは主として物質的要求を主張するのに対して反抗期は主として行動についての要求となります。

任せてみると失敗することが多く、「ほらこらん」と非難すると、自信喪失となり自主性が身につかない。「この次には、上手にやろうね」とやれば、自主性は大きく発達します。

次回の成功に対して希望を与えると、子どもは困難に挑戦する意欲を燃やし、意欲的な子どもになるのです。

友人形成

情緒が安定していて、自主性の発達している子どもであれば、3、4歳で、積極的に友達を求める欲求が強くなり、友達と一緒に遊ぶことを楽しむようになります。

けんか

しかし、自主性の発達に基づく自己主張のため、同じように自主性の発達している子どもとの間に、けんかが繰り返されます。

取っ組み合いをしたり、噛みついたり、髪の毛を引っ張ったりもします。しかし、それは自主性(自我)の発達していることの現われなので



「悪い子」と評価してはいけなしい、危険のない限り子どもに任せることが大切。

けんかを繰り返すことによつて、子どもは自己主張の仕方を変えたり、相手にも相手の立場があることを少しずつ認識していくのです。

つまり、けんかをしながらも、仲良く遊ぶ方法や社会性を伸ばしているのです。



形を変えて 紡いでいく

原村上温泉倶楽部(上竹田)



絆

KIZUNA

原村上温泉倶楽部は、上竹田原村上常会のメンバーで立ち上げた、出来立てほやほやのグループです。ご近所の仲良しさんと連れ立ち、主に安曇野近郊の温泉を巡っており、11月には新潟へ初の宿泊旅行を計画しているとのこと。これだけだと「絆!?」と思われるでしょうが、それはちよつと気が早い。

原村上は常会対抗スポーツ大会やナイターソフトボールへの参加を通じてご近所の絆を作り上げてきました。時とともに参加者が減り、それに従ってご近所付き合いも希薄になってしまいました。「スポーツ」という形にはこだわらない。気のいい仲間が集う場所を作りたいと発起人が思い立ったのが温泉同好会です。初めは2組の夫婦、たった4名の名もない集まりでしたが、かつての仲間を掛け合い、今年3月に12名の「原村上温泉倶楽部」を正式に発足させました。温泉が好きということ以上に、また皆と集まれるという喜びが、参加される皆さんの一番の動機なのでしょう。今回お話を伺った齊藤信夫さんは発足にご苦労された御一人で、同じように絆を失いかけている人たちに「ほら自分たちはこうやって絆を紡ぎなおそうとしているんだよ」と投げかけたいと話してくれました。

「最近寂しくなったなあ」と感じているあなた、この提案に一口乗ってみてはいかがでしょう?

ひまわり 佐野向日葵さん

下大池
(小5・かに座)



田口 克広さん

下竹田
(おとめ座)

みんなの
笑顔が一番



熱い男



山形村子ども教育会会ジュニアリーダの向日葵さん。きっかけは「学年関係なく、みんなで仲良く楽しめることがしたい」と笑顔でハツキリと話してくれました。

自然の中での遊びや魚つりなどが好き、とワイルドな部分と、クラフト作りを通してペンダントを作ったりとおしゃれも好きな一面も持つてます。ジュニアリーダの活動目標は、みんなの笑顔が一番とこれからの活動を楽しみにしていました。

そんな向日葵さんの夢はアロマティストとデザイナー、将来もおしゃれさんな女の子です。

山梨県出身の克広さんはとにかくスポーツ全般が好きで、農業の傍ら朝は早起き野球、夜はナイターソフトボールをこなしゴルフ、ソフトバレーなどスポーツ熱は冷めないようです。地区では消防団班長を今年から任されて責任感も強い克広さん、地区の行事や常会活動にも積極的に参加しています。

「野球を通じて村内外の人との交流があることがとても刺激があつて楽しいです」と語ってくれました。最近では県外から来たのでウインタースポーツに魅力を感じスノーボードにはまっているという、熱い男です。